

令和3年度 マリア学院 市原マリア・インマクラダ幼稚園自己評価結果

1 本園の教育目標

神さまと周りの人たちから愛されていることに気づく(宗教教育)
幼稚園生活の体験を通して 自分自身が好きになる(モンテッソーリ教育)
集団生活の出会いと関わりを通して 神様と周りの人々を大切にする(平和教育)

2 本年度 重点的に取り組む目標・計画

・すべての場所が、モンテッソーリの精神に基づいた活動になっている
・コロナ禍においても子どもたちが子どもたちらしく暮らせるように努める
・コロナの中においても家庭と連携をとり、子供の育ちにとともに関わる

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
カトリックの幼稚園として	宗教教育・モンテッソーリ教育・平和教育を幼稚園の生活で身近に子どもたちが触れ感じるように努めた。
幼稚園教諭として	子どもの鏡となるよう言葉使い、立ち振る舞いなども意識するよう努め教職員同士で話し合いの場を設けた。
モンテッソーリ教育	子どもたちが活動しやすい環境作りに努め子ども一人ひとりの個の成長を大切にするよう務めた
宗教教育	日常生活のなかで子どもたちと教職員である私たちも祈り、神様を感じることの大切さを感じた一年だった。
平和教育	世界を知り、世界のために祈ることを大切にして意識して努めた。自分という存在が大切なように他社も大切だということを理解した。
安全管理	火災、地震、自然災害などを想定し子どもたちの誘導や安全確保の話し合いをする機会を設けては、定期的に防災訓練を実施した。
保健管理	コロナ中で子どもの健康状態を把握するために、家庭や職員間の連絡、報告を密にとった。
子育て支援	預かり保育の充実を計った。未就園児クラス様々なクラスの開催と園庭開放も行った。カウンセラー等による子育て相談等を実施した。
学校・地域との連携	コロナの中、様々なイベントや交流が変更されたが去年よりが活動の幅が増えた。

4 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・コロナ禍だからこそ行事の工夫をして子どもの体験を去年より見直し形を変えた。
- ・園アプリを取り入れてアプリで連絡を取れるようにした。ブログなどでも園の様子を発信した。
- ・宗教教育がコロナ禍でいかに必要なのかを理解した。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育目標	子ども一人一人の成長と個性を尊重する言葉かけをする。
子育て支援	園の教育方針等の情報発信をも積極的に行い幼稚園でできる子育て支援を発信していきたい。
特別支援教育	一人ひとりの状況を把握し、適切な指導計画を作成するために、医療・福祉関係機関との連携を模索したい。
安全体制	コロナと上手に向き合い保健、安全ともに 現代社会の状態を正確に知り、危機回避につなげられるよう具体化していく。

6 学校関係者の評価

保育内容評価について、学校関係者12名の意見を集約

- ・モンテッソーリ教育を通して、子供たちは豊かに成長していると感じられる。
- ・園での様子を子どもが楽しそうに話してくれる。
- ・園庭でこどもたちが伸び伸びと遊ぶ時間も増えた様子が子どもからもうかがえる。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる